

ひめじ

令和5年第3回定例会号
11月 2月
No.242
9月 6月
定例会号は年4回の発行です

Arcrea HIM

9月21日 世界アルツハイマーデー

各会計決算を認定

9月23日 手話言語の国際デー

令和5年第3回姫路市議会定例会の概要

- ・ 9月1日から10月2日まで32日間開催
- ・ 本会議では17人が質問
- ・ 各会計決算などの議案34件を原案どおり議決、
請願3件を不採択

10月1日 ピンクリボンデー

第3回定例会

質疑・質問



録画中継を視聴できます。

9月8日、11日、12日の3日間にわたり17人の議員が議案や市政全般についての質問を行い、4年度決算や高齢者支援、子育て支援などについて活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。

財政

安定した財政運営に向けて

問 今後の健全財政運営を維持するための方針は。

答 市税収入をはじめとする一般財源の伸びが期待できない中、新美化センターや新たな市立高等学校の整備をはじめ、老朽化した公共施設等の更新、長寿命化対策、今後増大する義務的経費などに多額の財源が必要であり、厳しい財政状況が見込まれる。行政のスリム化や市民サービスの最適化、公共施設の保有量の最適化による維持管理および更新費用の軽減などの行財政改革に着実に取り組む。

問 このたび発表された事業見直しの意図は。

答 社会情勢や市民ニーズの

学校

子どもの活躍する場の確保を

問 中学校の部活動の地域移行に当たっての課題は。

答 受け皿としての運営団体や指導者の質・量、活動場所などの確保、費用負担のあり方のほか、山間部と都市部など地域により状況が異なることも大きな課題である。これまで、学校部活動が果たして

きた教育的意義を継承・発展させ、関係団体とも連携し、協議・検討を続けていきたい。**問** 具体的な取り組みと今後の展望は。

答 水泳競技において、休日の新たな地域クラブ活動の実証事業を計画している。競技団体と連携して指導者を確保し、学校の枠を超えた合同型の活動を行い、成果や課題を検証する。

教職員の休日の部活動指導に係る負担や、専門外の種目を指導する負担が軽減されるよう、休日の部活動の地域移行に向けた市の関係部局・学校・競技団体などの連携体制を構築し、可能な部分から取り組みを進めていく。

丁寧な説明と周知を

問 市立高等学校在り方方針の再検討は。

答 同方針は、有識者やPTAなど幅広い分野の委員で構成された審議会の答申内容を踏まえ、パブリックコメント手続を経て、5年2月に策定した。

現在の3校体制を見直し、発展的統合を実施することで教員や財源を集中させ、充実

した教育内容の提供と学校施設の抜本的整備を進めていく。**問** 市民への周知は十分か。

答 まずは、中学生やその保護者に説明する必要があると考え、8年度の再編内容を周知するチラシを作成し、7月に市立中学校を通じて配布したほか、8月に実施した市立3校のオープンハイスクールでは、市立高校だよりを配布し、校長が説明を行った。また、希望するPTAにも周知を行っている。市民への説明会等も必要に応じて検討する。



姫路高校のオープンハイスクール

高齢者支援

介護サービスの維持のために

問 介護人材を確保するための取り組みは。

答 今後、生産年齢人口の減少に伴い、担い手の確保が厳

しくなると見込んでおり、人材確保や育成、離職防止対策として、職場環境の改善を旨とした業務管理研修の実施、介護記録の電子化などICT導入による業務効率の改善を支援していく。また、各事業者が苦慮している利用者による不当要求対策として、弁護士による無料法律相談や不当要求に係る研修会を実施しており、今後も利用者への啓発を含め課題解決に取り組む。

地域区分の見直しに向けた本市の対応は。

答 人材の確保や質の高いサービスの安定的な提供という観点から、直近の人員費や物価状況などを反映した地域区分制度とすることや、公務員の地域手当に準拠しつつも一定程度調整できるようにすることなどの協議制度の創設を毎年度国に求めており、今後もし引き続き要望していく。

市民サービス

アプリの機能拡充を

問 SNSアプリ「LINE」の市公式アカウントを導入しては。

答 める **問** 観光による経済効果を高める取り組みは。
姫路観光コンベンション

官民連携で観光の充実を



また、市民からの情報提供、各種申請、届け出の受け付けなどの機能も順次追加していく。

問 市民アプリ「ひめパス」をLINEで再構築しては。

答 デジタル市民カードなど本市独自の機能を有するひめパスと、情報発信機能を中心とするLINEが互いに補完し、連携することにより、効果的な行政サービスの提供が可能となることから、両アプリの利点を生かした開発を進めている。

答 5年度に市公式アカウントを取得し、現在、個別に運用している子育て応援サイト「わくわくチャイルド」と、市民活動・ボランティアサポートセンター「ひめじおん」の2つのアカウントを統合するとともに、防災、観光など市民生活に役立つ情報発信を行う。

議員名 (会派)	主な質疑・質問内容
石見和之 (自由民主党)	新設高校の開校準備・校舎整備/部活動の地域移行/こども医療費無料化の完全実施/少子化対策/観光振興の経済効果/大規模大会が可能なテニスコートの整備/動物保健センターの新設整備
中西祥子 (公明党)	R4年度決算について/姫路しらす商品券について/介護保険事業について/終活支援について/おくやみ窓口の拡充/電子母子手帳について/献血推進について/市役所地下の空きスペースの活用
井上太良 (新生ひめじ)	令和4年度決算/夢前川の環境整備・保全/公共工事の実施までの要件と期間/地域の活性化/こどもの未来健康支援センター「みらいえ」/空き家対策/街路樹/姉妹都市、姉妹城
下林崇史 (日本維新の会)	少子化に歯止めをかけるために本市が取り組んでいる婚活イベントについて/市立小中学校の給食費無償化に向けて/施設設備の老朽化について/防犯、見守りカメラ設置について
神頭敬介 (姫路無所属の会)	安全安心な観光都市姫路を目指して-「客引き行為等の防止について」/地域の諸問題の解決に向けて-「市道網干17号線の拡幅工事について」
牧野圭輔 (改革無所属の会)	姫路市立3高校の統合に関連した「姫路市長選・高校生ミーティング」における市長発言等/出張旅費支給等の見直し/幼児教育・保育の無償化後の市立幼稚園における課題等
金内義和 (志政会)	姫路市民文化祭の事業見直しについて
駒田かすみ (市民クラブ)	令和4年度決算(総括・事業見直し・GIGAスクール・ひめじポイント・包括外部監査対応)/公共施設の在り方(香寺町の施設・各種公園の状況)/姫ちゃんのシステム更新/性暴力対策
谷川真由美 (日本共産党議員団)	健康保険証を存続しマイナカードへの一体化は中止を-保険証存続を国に求めること/マイナカードの完全・確実な総点検を/不登校児童生徒の居場所確保のため、「校内教育支援センター」の設置を
阿野れい子 (公明党)	子育て支援について/こどもの未来健康支援センター「みらいえ」について/結婚生活支援について/熱中症対策について
三浦充博 (日本維新の会)	選挙の投票環境について/将来に向けた姫路観光施策について/こども医療費の完全無償化について
嶋谷秀樹 (姫路無所属の会)	市民サービス向上-LINE公式アカウントで市民アプリ-新しいHP-書かない・待たない窓口/的形地区諸課題-播磨臨海地域道路-的形駅周辺整備-通学路安全対策-災害対策-イノシシ対策
塚本進介 (改革無所属の会)	「姫路の教育」公教育を考える/個性に合わせた個別教育と一定の教育水準確保/学校教員の働き方改革/「教育と地方創生」子育て支援の本気度/ICT教育・中学校の部活動/地域での学校の役割
西村しのぶ (志政会)	介護人材不足について/LGBT理解増進法施行後の本市の取組について/市民に寄り添うコロナワクチン接種の在り方について
山口悟 (市民クラブ)	学校のプール授業の在り方/ペットツーリズム-宿泊税/世界遺産姫路城マラソン/肢体不自由のある児童・生徒への支援/少年補導委員の報償費の再検討
小田響子 (日本共産党議員団)	姫路市立高等学校在り方方針の再検討を-再検討と丁寧な説明を-再編計画によって受験競争の激化と遠距離通学の生徒が増えるのではないかと-姫路高校の校地内に2つの高校が存在することについて
岡部敦吏 (日本維新の会)	児童相談所の設置について/家島諸島海底送水管の保全業務について/企業立地の支援について

ビューローを中心に、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」や、5年度に創設した観光産業育成事業を通じ、観光地としての本市の魅力と民間事業者の収益力の向上を図っている。

また、姫路城やアクリエひめじなどを生かしたMICEの誘致活動を展開するほか、消費意欲が旺盛で、経済効果が高いと言われる富裕層の誘客を視野に入れ、特別な体験コンテンツの充実に努める。

さらに、7年には大阪・関西万博だけでなく瀬戸内国際芸術祭も開催されることから、二つの会場の間にある本市への誘客と滞在時間の延長を図るため、姫路観光コンベンションビューローと連携して本市ならではの体験プログラムを造成しており、引き続き魅力的なプログラムの開発に努める。

より安全安心な観光都市に

問 客引き行為等への対策は。

答 県の客引き行為等防止条例は、あらゆる業種の客引き行為を規制し、指定された禁止地区での客引き行為等には

過料を科すことができる。

コロナ禍の影響により減少していた人の流れが回復する一方、商店街での客引き行為等への苦情が寄せられており、今後、県の担当課や姫路警察署と共同で実態調査を行う予定である。調査を行う中で必要に応じて、禁止地区の指定について県の判断を求めている。

また、市の関係部局とも協力し、県条例のもとで県の担当課や警察、地元商店街とも連携・情報共有しながら、パトロールの継続的実施や姫路警察署による取り締まりにより、県の条例が十分認識されるよう啓発を行っていく。



選挙

投票率向上のために

問 移動式期日前投票所の導入や、高校や大学など教育施設での期日前投票の実施を含めた期日前投票所の増設は。

答 期日前投票所については、3年の兵庫県知事選挙から2カ所増設し、市内9カ所で開設しており、限られた人員と予算の中でより効果的な運営

に努めている。

移動式期日前投票所は、閉鎖した当日投票所の代替策として設置される事例が多いが、本市は、小学校区を基本とし、自治会とも協議の上、109カ所の当日投票所を維持しており、導入は考えていない。教育施設での期日前投票は今後調査、研究していきたい。期日前投票所の増設も、人員や予算の課題があり、現時点では考えていない。今後の人口変動により設置の必要性があれば検討する。



明るい選挙啓発ポスター



文化芸術

よりよい活動ができるよう

問 姫路市民文化祭を廃止する理由は。

答 姫路市民文化祭は、市民文化団体の成果発表の場や、

市民が文化芸術に触れる場として、毎年10月末から約1カ月間にわたり市内の各会場で約20事業が展開されており、市は、会場使用料など開催経費の一部を負担している。

しかし、参加団体が固定化され、単一団体の定期演奏会として活用されるなど、参加団体以外の団体との公平性が課題となっていた。また、イベントの多い秋に会場を長期間占用するため、MICEや興行公演などの会場確保が困難となっていた。

そのため、5年度の全庁的な事業見直しの中で、本事業も本格的に見直しをすることとなった。

今後は、参加団体が継続して活動できるよう、文化芸術活動会場補助金や、姫路市文化国際交流財団の文化活動助成金などの助成制度の充実を検討していきたい。



姫路城マラソン

魅力あるマラソン大会に

問 ランナーからの意見を直接聞き取り、事業計画案へ反映できないか。

答 ランナーからの意見を直接聞き取り、事業計画案へ反映できないか。

答 ランナーに対するアンケート調査の結果や、マラソンのインターネットサイトに書き込まれた評価や意見を参考に、次回大会に可能な限り反映できるよう努めている。

ランナーのニーズに沿ったよりよい大会となるよう、他都市の大会運営を参考にしながら、ランナーの意見を直接反映できるようなシステムづくりに努める。

問 好奇心を刺激するような参加賞を企画しては。

答 現在、参加賞として記念Tシャツや姫路城無料入城券を配付しているが、さらに「千姫からのご褒美グルメプレゼント」と称して、マラソンの部において完走したランナー



プレゼントでおもてなし

のうち、総合順位のキリ番ごとに姫路和牛やぼうぜ鱧などの姫路特産グルメを進呈する企画を準備している。



マイナンバーカード

完全・確実な総点検を

問 マイナンバーカード総点検に係る本市の対象事務は。

答 医療保険に関しては、総点検に先立ち、厚生労働省から点検依頼があり、国民健康保険については本市で、後期高齢者医療保険については広域連合でそれぞれ確認した結果、ひも付け誤りは無かった。

9月に公表された本市の点検対象は、身体障害者手帳事務である。この事務は、厚生労働省の方針によりすべての実施機関が対象となっている。**問** 完全・確実な総点検のため、マイナンバーカード運用の一時停止を国に求めるべきでは。

答 国においては、現在のデジタル化の流れを逆行させることなく、総点検によりマイナンバー制度に対する不安や不信感を払拭するとともに、メリットをしっかりと啓発してほしいと考えている。

本市としても、国や県と連携し、制度の周知広報に努めるとともに、より利便性を感じてもらえるようなマイナン

バーカードの多目的利用を進めていきたい。



子育て支援

子育てを楽しく便利に！

問 電子母子手帳の機能と周知方法は。

答 電子母子手帳は、子育て応援アプリ「ひめっこ手帳」として、9月4日から利用開始した。アプリをダウンロードすれば無料で利用できる。同手帳は、従来の母子健康手帳と併用して妊娠中の体調管理や子どもの健診記録を登録することができる「母子健康手帳機能」や、地域の子育てに関するニュースやイベント情報をはじめ、妊娠週数や子どもの月齢に応じた健康診査や予防接種などのお知らせをプッシュ通知により受けられる「地域の子育て情報機能」などを備えている。

今後、母子健康手帳の交付時やこんにちは赤ちゃん訪問



ひめっこ手帳

予防接種シール送付などの機会のほか、市ホームページをはじめ、各窓口や乳幼児健診会場、産科や小児科などの医療機関にもポスター・チラシを設置し、広く周知啓発を図っていく。

安心して子育てできる環境を

問 緊急時における子どもの預け先確保のためのサポートは。

答 公立2施設、私立29施設の保育所、認定こども園において、一時預かり事業として、緊急時などの子どもの預かり事業を行っている。

こども保育課の窓口には、利用者支援員3人を配置し、保護者の希望するエリアで一時預かり事業を実施している施設や、緊急時に子どもを預けられる制度を案内しているが、一時預かり事業に係る各施設の空き情報については、保護者に直接、各施設へ問い合わせてもらっていることから、保護者の負担となっていることは認識している。

今後は、保護者負担の軽減につながるよう、保護者ニーズと保育サービスなどを適切に結びつけるための方策につ

いて、他都市の状況を含め調査、研究を進めていく。

保護者ニーズに応えるよう

問 市立幼稚園で預かり保育を実施していない理由は。

答 3年に策定した「姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針」において、市立施設の統合再編を進めていく中で、保育人材の確保に合わせ検討を行うこととしているためである。

問 3歳児保育の実施が10園にとどまっている理由は。

答 教育・保育ニーズについては、公立・私立、幼稚園・認定こども園の区分なしに確保を図っていくものと考えている。1号認定の定員がすべての地域で充足しており、私立認定こども園でも3歳児を含めた1号認定の定員が増えている状況であるため、拡充は考えていない。



姫ちやり

システム更新で利便性向上を

問 料金などの変更点は。

答 11月の利用開始に向けて整備を進めている。電動アシスト付き自転車を導入し、アプリをスマートフォンにダウンロードすることで直接貸し借りできるようになる。料金は1回利用30分165円、月額利用2200円、1日パス1430円などを設定する。

問 ポート数と自転車数の拡大は。

答 現在20ポート150台だが、自転車に設置されたGPSデータの分析により利用者が多い地域に効果的に拡大するなど、将来的に50ポート300台とすることとしている。また、全国的にシェアサイクルを展開している事業者のノウハウを活用し、コンビニエンスストアなど民間企業の敷地にも設置する予定である。イベント開催時の臨時ポートの設置については、その内容や期間等を勘案しながら、事業者と協議し、検討していく。

3つの認定区分

1号認定
子どもが**満3歳以上**で、**教育**を希望する場合

2号認定
子どもが**満3歳以上**で、「**保育の必要な事由**」に該当し、**保育所**等での**保育**を希望する場合

3号認定
子どもが**満3歳未満**で、「**保育の必要な事由**」に該当し、**保育所**等での**保育**を希望する場合

ライフライン

家島地域に安定的な給水を

問 敷設後40年以上経過する海底送水管の更新計画は。

答 現在、更新基本計画を策定中であり、各系統を評価した上で、更新順位や優先度を決定する。

本市が採用しているステンレス鋼帯等で防護しているポリエチレン送水管は、全国的

に破損事例の報告はなく、本市でも重大な問題は生じていないが、他都市では特殊ポリエチレン送水管の破損事例が発生していることから、本市の敷設状況や耐用年数等を考慮すると優先度は高いと考える。まずは家島・坊勢島間について早期に着手できるように検討を進める。

問 海底送水管の更新以外の手法の検討は。

答 海水を処理して真水に変える海水淡水化施設の建設を

検討したが、当初の建設費に加え、維持管理費等を考慮すると、トータルコストで海底送水管の更新の方が優れているため、国の交付金制度を最大限に活用し、更新の方向で検討を進めている。

少子化対策

若年層に出会いと交流の場を

問 本市が取り組む婚活イベントの内容は。

答 出会いを望む独身男女に出会いと交流の場を提供することで、未婚化・晩婚化に歯止めをかけるとともに、本市への興味関心を高め、交流人口などの創出拡大を図るために実施するもので、1つ目の「家島 DE 愛 LOVE ISLAND」は10月に家島本島で開催する。

2つ目は、首都圏で働く独身男女を対象に、「出逢い×観光×仕事」をテーマとする

ワーケーションツアーを開催する。

問 民間企業との連携は。

答 ブライダル業界からの相談もあり、市内の結婚式場のPRや利用促進等に向けた協議を進めている。特に若い世代に対し、結婚の魅力を体感できるイベントを実施することで結婚数の増加につなげるため、模擬結婚式の体験など、結婚への機運が高まるようなイベントの実施に向け、引き続き調査、研究していく。

令和4年度決算審査

9月13日、14日に予算決算委員会（全体会）を開催し、各会計の決算について理事者から説明を受けました。15日および19日から21日に各分科会を開催し質疑応答を行い、議案を慎重に審査しました。26日の全体会で各分科会長から分科会での議論について報告され、10月2日の本会議で4年度の全会計決算を認定しました。

各分科会での議論から、その一部を紹介します。

総務分科会

問 オンライン研修が増加し

ているが、効果等は。

答 経費削減の面から主催者・参加者の双方にメリットがあり、オンラインでも効果が見込めるよう計画されていることから、習熟度に特段の

差は生じないと考えている。
意見 費用対効果を一層意識して経費節減に努めるとともに、オンライン研修の受講に当たっては、充実した環境づくりを進められたい。

問 旧モノレール橋桁・橋脚撤去工事の進捗は。

答 現時点で、橋桁の残存部分131桁、進捗率は93%、橋脚の残存部分が22本で、進捗率は74%である。

意見 橋脚の老朽化に伴う危険性にはしっかりと対処し、住民の安全を確保しながら、着

実に工事を進められたい。

問 海外留学生奨学金の給付の対象と目的は。

答 市内の私立・県立大学に海外から来た留学生を対象としている。留学生の修学支援に加え、学生同士の交流を深めることで国際感覚を備えたグローバルな人材の育成を目的としている。

文教・子育て分科会

問 保育人材確保対策費で実施している事業の支給実績は。

答 定着支援一時金給付事業は233人、住居借り上げ支援事業は40人、奨学金返済支援事業は144人に支給している。

問 私立施設助成事業費で助成した民間の放課後児童クラブ数と受け入れ児童数は。

答 7カ所のクラブに対して助成し、およそ220人の児童を受け入れている。

意見 共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの必要性は、公立・私立を問わず高まっているため、受け入れを

拡大できるような民間のクラブの状況把握に努め、しっかりと支援されたい。

問 教員の部活動による時間外勤務の削減および負担軽減を目的として配置された部活動指導員の活動内容は。

答 市が策定したガイドラインに基づき、平日は2時間程度、休日は土日のいずれか1日に3時間程度で、週当たり11時間が上限となっている。

意見 教員の働き方改革の実現に向けた部活動の地域移行は、国が定めた方針であることから、国や県に対し、人材確保のための十分な予算をしっかりと要望されたい。

厚生分科会

問 名古屋霊苑の納骨堂の今後の在り方は。

答 永代供養を納骨堂で継続するのか、納骨して数十年経過後に合葬墓へ遺骨を移すのかなど、さまざまな形が考えられることから、市民の声をしっかりと聞きながら検討していきたい。

意見 今後、合葬墓を検討する場合、設置場所については、姫路西霊苑の有効活用もあ

せて検討されたい。

経済観光分科会

問 路上喫煙過料を確実に徴収するための方策は。

答 制度の導入当初は500件程度あった徴収件数が近年は150件程度にまで減少しているが、その後は大きな減少が見られないことから、今後はより効率的かつ効果的な方策を検討していきたい。

意見 事業内容の見直しも含め、路上喫煙の防止に向けた有効な方策を精査し、しっかりと取り組まされたい。

問 姫路駅北駅前広場の芝生広場の利用状況は。

答 夏季に一部を開放している期間もあるが、利用により傷んだ芝生の再生が進まない冬季は立ち入りを制限している。整備から10年近く経過する姫路駅北駅前広場について検討する中で、芝生広場の在り方も考えていきたい。

意見 これまで以上に市民が集える場となるよう、しっかりと検討されたい。

建設分科会

問 市営住宅の空き室の改修を進め、既存の住戸を有効活用しては。

答 築年数が古い住宅等は通常よりも多額の改修費用がかかるため予算的な余裕はないが、可能な範囲で改修し、より多くの希望者に入居してもらいたいと考えている。

意見 空き室を放置することは不利益が大きいため、改修費を安価に抑える方策を打ち出すなど、空き室を減らすよう努められたい。

問 工場立地地域と住宅地域を分断する緩衝緑地帯の樹木を伐採し、公園などを整備することを検討できないか。

答 自治会からの要望もあるため、地域の実情に即した適切な整備を行いたい。

問 下水処理場の未利用地に整備している太陽光発電設備を、さらに拡大できないか。

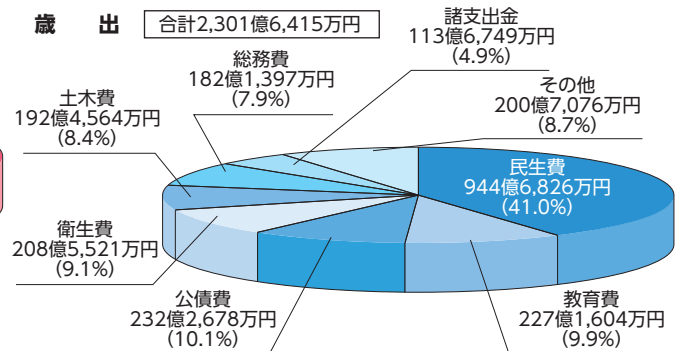
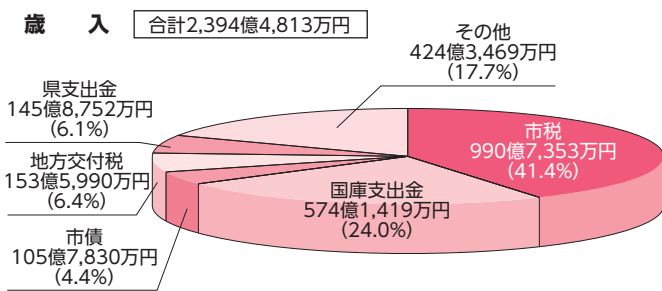
答 現在は、売電単価が当初の半額以下になっており、採算の面から拡充については見合わせるべきと判断している。

意見 太陽光発電に限らず、下水を利用した発電なども含め、収益事業の拡充を検討されたい。

55年連続黒字 健全な財政を維持

4年度 決算のあらまし

一般会計



特別会計

事業名	歳入 (万円)	歳出 (万円)
国民健康保険事業	543億5,384万円	528億4,192万円
介護保険事業	462億9,068万円	453億3,771万円
後期高齢者医療事業	83億7,599万円	81億2,712万円
卸売市場事業	93億8,465万円	89億1,844万円
財政健全化調整	21億9,794万円	21億9,794万円
その他(2会計)	2億1,531万円	7,241万円

公営企業会計

事業名	収入 (万円)	支出 (万円)
水道事業	126億6,419万円	104億1,733万円
都市開発整備事業	8,151万円	5,027万円
下水道事業	192億7,990万円	187億530万円
資本的収入	29億2,967万円	129億751万円
資本的支出	72億3,907万円	198億6,626万円

委員会等の活動(7月～9月)

委員会報告

各常任委員会を定例会中に開催し、それぞれ付託された議案や請願等について活発な議論を展開しました。

議案が付託された6つの委員会のうち、予算決算委員会以外の委員会の委員長口頭報告から、主な要望事項を紹介しします。※予算決算委員会に付託された決算議案に関する議論はP6～7のとおり。

総務委員会

①積極的な施策の展開と持続可能な財政運営の両立を図るために行う事業見直しは、行財政改革の観点に基づき、他部局と連携を図るとともに、事業関係者とも十分協議を重ねて取り組まれない。

②使用料および手数料等の見直しについて、特にスポーツ施設にかかる使用料の見直し件数が多いが、スポーツとの関わりを通じた市民の健康増進といった生活面にも影響を及ぼすことにも配慮し、しつ

かりと説明責任を果たされた。

③姫路版スマートシティ事業が国からの交付金を活用したマイナンバーカードなどのデジタル技術の普及促進の施策であることは理解するが、行政で一律に進めるのではなくさまざまな市民の声を配慮する必要がある。また、新たな事業を進めていく上で、市民が使いやすいアプリの仕様やセキュリティ面などの課題をしっかりと考慮しながら、持続可能な姫路版スマートシティの実現に向けた取り組みを推進されたい。

文教・子育て委員会

①新婚世帯に対し、家賃や共益費、住宅購入やリフォーム費用のローン返済などを助成する結婚新生活支援事業の見直し案について、今後増大が見込まれる本事業に財源を確保すべきと考えることから、所管する全ての事業について検証を行い、しっかりと精査した上で、本事業の今後の方針を決定されたい。

②そうめん滝キャンプ場は5年度末に閉鎖するが、キャンプ場として利用可能な市他の施設は安全性に問題がなく、十分利用可能であることから、閉鎖後も引き続き市民等がキャンプを楽しめるよう、関係部局に対して施設の充実を図るよう促されたい。

厚生委員会

①6年10月に設置予定の家島交流センターは、コミュニティセンターと老人福祉センターの役割を併せ持つ家島独自の施設である。新たなセンターの取り組みを、家島地域のみならず全市の施策の参考としつつ、本市における公民館を含めたコミュニティセンターの今後の在り方についてしっかりと検討されたい。



世代間交流と生きがいづくりを支援

政務活動費と情報公開

しろまるひめの市議会ワンポイント講座

政務活動費とは、地方自治法や条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として議会における会派（基本的な政策が一致する議員で構成するグループ）に対し交付されるものです。

その使いみちの透明性を高めるため、政務活動費収支報告書や領収書を添付した支出書、会計帳簿を公開しています。

政務活動費の使いみちの基準

調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加など、市政の課題および市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費

ホームページ
でみられるよ。



②救急医療施設後送委託事業の委託料について、受入実績をある程度反映させたいとのことであるが、常に病床が確保されていないと受入困難な事態が生じる可能性があるため、受入実績だけでなく、医療現場の声も聞いた上で委託料を設定されたい。また、市

民生活に直結した事業の見直しは、目的や取組内容、効果などを詳細に検証した上で、必要な事業にはしっかりと取り組まれない。

③5年12月に人々のつながりに関する基礎調査市民アンケートを実施することで、ひきこもり状態にある人の実態お

よび当事者のニーズを把握し、今後の支援の在り方を検討されたい。

経済観光委員会

①市民文化祭の見直しについて、改めて説明会を開催するとともに、活動を支援するための予算確保に努めたいとのことであるが、市民文化祭の参加団体の中には規模が小さく、単独での発表会の開催が困難な団体もあることから、団体の声にしっかりと耳を傾け、丁寧に対応されたい。

②新美化センター建設候補地の選定について、現在の最新技術を用いて建設されるごみ処理施設の性能について積極的に情報発信し、住民の理解を促進することにより、同センター建設に係る事業が円滑に進むようしっかりと取り組まされたい。

建設委員会

①開発事業により新設された小規模公園の多くが荒廃していることから、条例を改正し、その増加を抑制することであるが、使用されていない公園を地域住民が望むような

形で活用できるように、他の部に先駆けて検討されたい。

②崩落防止措置を講じなければ災害の発生が予想された傾斜地において、本市が土地所有者らに代わり応急対策工事等を実施した。この費用の支払いに応じなかった土地所有者らに費用の償還を求める調停を裁判所に申し立てたが、一部の土地所有者とは問題を解決できなかったため、費用等の支払いを求めて訴えを提起する件について、既に本市に費用を支払う旨が確定している土地所有者から不公平感を抱かれることのないよう、しっかりと対応されたい。

③水道料金体系の見直しに当たっては、多くの市民の賛同が得られるような見直しを実施できるよう、誰もが理解しやすい広報に努められたい。

請願

本定例会で結果が出た請願は次のとおりです。

不採択

○保育士の配置基準を引き上げるよう、国に対して、意見書の提出を求めることに

ついで

○姫路市立高等学校再編計画の再検討と市民への丁寧な説明を求めることについて
○健康保険証の存続を求める意見書の提出について

次の定例会は 11月下旬 開会予定です

詳しいことは議事課までお問い合わせください

(02211203)



行政視察報告

議会活動の一層の充実を図るため、先進都市の優れた事業などを視察し、まちづくりに役立てていきます。

- 建設委員会 7月18日～19日
岐阜市：ぎふしみちレポ
豊田市：衛星画像による漏水可能性区域判定
- 厚生委員会 7月18日～20日
川崎市：動物愛護の取り組み
旭市：「生涯活躍のまち・あさひ形成事業」の取り組み
東京都渋谷区：渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例
- 経済観光委員会 7月18日～20日
福島ロボットテストフィールド：
福島ロボットテストフィールド
仙台市：仙台未来創造企業創出プログラム
- 総務委員会 7月19日～21日
大分市：大分市消防団ビジョンの策定、女性消防団
北九州市：男性職員の育児休業取得率向上の取り組み
- 文教・子育て委員会 7月20日～21日
さいたま市：さいたま市立浦和高等学校
久喜市：久喜市版未来の教室
- 議会運営委員会 7月31日～8月1日
宝塚市：議会報告会・意見交換会
横須賀市：予算決算常任委員会

- 公明党 7月3日～4日
大和市：不登校特例校、文化創造拠点シリウス
入間市：ヤングケアラー支援条例
- 市民クラブ 7月3日～5日
横須賀市：横須賀市観光立市推進アクションプラン
さいたま市：ICTを活用した自治会活動支援事業
東京都葛飾区：学校外プールを活用した水泳指導
- 新生ひめじ 7月10日～12日
多賀城市：特別史跡多賀城跡復元整備事業
石巻市：コミュニティを核とした持続可能な地域社会の構築
山形市：市南部への児童遊戯施設整備事業
- 志政会 7月11日～12日
熊本市：市議会議員の不当要求事案に対する議会および執行部の対応
粕屋町：介護一次予防事業
- 姫路無所属の会 7月24日～26日
札幌市：札幌市密引き行為等の防止に関する条例
旭川市：観光の取り組み
- 自由民主党 7月24日～26日
藤沢市：FujisawaSSTと行政サポート、子どものショートステイ事業・トワイライトステイ事業
横須賀市：Yokosuka e-Sports Partners制度
- 改革無所属の会 8月3日～4日
北九州市：公共交通
熊本市：教員採用試験

提出議案とその結果（令和5年第3回定例会）

提出議案34件のうち、31件については全会一致で認定、可決または同意しました。
賛否が分かれた議案とその結果は以下のとおりです。

賛否が分かれた議案		結果	会派名								
番号	件名		公明	市民	自民	新生	維新	姫路	改革	志政	共産
議案第102号	令和4年度姫路市一般会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	×
議案第105号	令和4年度姫路市国民健康保険事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	×
議案第107号	令和4年度姫路市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	×

会派の略称と人数

公明党	公明	8人	姫路無所属の会	姫路	3人
市民クラブ	市民	8人	改革無所属の会	改革	3人
自由民主党	自民	8人	志政会	志政	3人
新生ひめじ	新生	5人	日本共産党議員団	共産	2人
日本維新の会	維新	5人			

※ 賛否には議長(市民クラブ所属)は含まれません。

賛否状況の表記

賛成は「○」、反対は「×」、
除斥は「除」、退席は「退」、
会派内で賛否が分かれた場合
等は「※」と表記しています。

すべての議案の結果および
議員ごとの賛否等の状況は
ホームページでご覧になれ
ます。



姫路市議会議員を紹介します vol.1

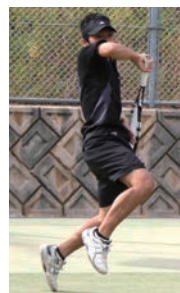
市民の皆様の代表である45人の市議会議員を紹介します。
今号は次の4人です。

質問内容 ①自分の性格は？ ②趣味や特技は？
③市民の皆様へ熱いメッセージを！



八木 隆次郎 議員 (市民クラブ)

①温厚な性格だといわれますが、正義感のあまり気が荒くなることもあります②趣味はゴルフとカラオケ、そして毎朝1時間の草引き（ゴルフより上手い）③市民の皆様の声に寄り添いながら親身になった問題解決と一つでも多く声を形にしていく事、その実現に向けて「誠心誠意」取り組んでまいります



石見 和之 議員 (自由民主党)

①フットワークを生かして、粘り強く、最後まで諦めないタイプです。情に弱く涙もろいところがあります②雑貨屋巡りが好きで、最近はパスタ料理作りにハマっています。失敗もよくあります。自然と音楽とスポーツをこよなく愛しています③語りつくせない夢がいっぱいあるので必ず実現していきたいです



西本 眞造 議員 (公明党)

①「聞き上手」と自分では思っています②読書とスポーツが好きで、司馬作品や池戸作品などを読破。スポーツでは、ソフトテニス。現在の趣味はマラソンで、世界遺産姫路城マラソンも完走しました③困りごとや相談に耳を傾け、一緒に解決したり、人と人をつなぐ架け橋になればと思います、日々活動しています



塚本 進介 議員 (改革無所属の会)

①明るく前向きで積極的な性格②学生時代はバドミントン部。ゴルフも少し。姫路城マラソンに向け現在練習中。イベント好きで自分でも音楽&ダンスフェス(姫音祭)や食のイベントを実施。城周辺でのドローンショーやキャンプイベントを企画③チャレンジとともにアフターコロナの賑わいを発信しましょう